

行

命創立當時より會長鈴木文治、股長トナリ居方ニテ勤カラリシカ會、  
 系後ニ伴ヒ自然ニ代意ヲ繼ニセントスルノ傾向アリ爲ニ本部員トシテ  
 見、行務ヲ生スル場合ニナリシカバ會長鈴木文治、前部員トシテ  
 三至リテ於テ權限ヲ所シテ關連シテ關東出張所ニ併合セリ今年六月  
 出張部長平沢計七、辭シ職ヲ引退シ記者法學士原生久入ッテ出張部  
 長トナリ平沢計七、辭シ職ヲ引退シ記者法學士原生久入ッテ出張部  
 大正八年八月三十日付ニテ七週年紀念祭ヲ執行シ後トシ組織ヲ改メ理事制ト  
 成員ノ異動ヲ行ハリ即チ九ノ如シ  
 理事長鈴木文治 理事出張主任 原生久

七行勸ノ概要

一、創立後大正四年三月止ニ至ル會員、糾合會費、擴張ニシテ活動シ各所ニ支  
 部分會ヲ設置シテ組織會費ヲ増進スル外特ニ行勸ノ見ルハナクナリ  
 或ハ年表ニテ明セシ例ナキニテラカレモ何レモ微ニシテナリシガ故ニ我  
 孔ノ影響アリ支テ急激ニ泰達ヒル狀界ノ狀勢ハ猶故産業ノ發達其  
 任ニ達シ支テ伴フ努力並用、增加物價、巨額騰貴、自然ニ趨界トシテ力  
 働者ノ賃銀値上時短縮並生、狀態ニシテ中會又所所在ノ事業地ニ會員具  
 張ト化シテ此種ノ問題發生、狀態ニシテ中會又所所在ノ事業地ニ會員具  
 存スルニ伴ヒ上調停、手段ニ出ケレリ故カラリシモ最モ顯著ナリシハ大正六  
 年初頭ニテ六ヶルニ至リテ是年夏池貝敷工場及中野向島田ニテ製造會社  
 兼ニ米福也月島等處ニ製造會社ニシテ此種事業ニシテ何レモ如キ日、諸  
 三依リ解決ヲ見ルニ至リテ是年其當時労働問題、類ニシテ此種事業又、公  
 業別ニシテ困難、組織ニシテ、事務トシテ、三ヶルニ至リテ労働者、多クハ  
 十ヶルニ至リテ、傾向ニシテ、シカバハ、會員又、擴張トシテ、三ヶルニ至リ  
 之ニ至リテ、自ラ、労働者、主義ヲ鼓吹スルニ至リ、加之、會長鈴木文  
 治ハ波来ニ依リ彼地ニシテ労働運動ノ、狀況ヲ自覺シテ彼國ニシテヤ

勤

行

勤

勤ニスレハ夫レニ模倣セントスルノ傾向ヲ示シ漸ク事業家ノ養成ト稱志ト  
 入道第四年八月日進三百三十四員、創立後通年終各機關會同催成受在  
 第一日(六月)午後一時分會ヨリ本部ニ被賞禮祝會ヲ開キ顧問評議員及支那  
 分會代議員等來賓等約五百五十名ノ出席ナリ顧問評議員評士添田勇(外一)名  
 ノ講演ナリテ閉會午後六時ヨリ、趣向ニ九段以上百七員、新ニ於テ晚餐會ヲ開  
 催セリ  
 第二日(七月)午前九時分會ヨリ本部ニ被賞禮祝會會長選舉及會則改正  
 ヲ附議シ會長鈴木文治ノ重任會則改正一部ヲ修正スルニ議決シ更ニ  
 午後六時ヨリ、評議員等會館ニ於テ祝賀禮祝會ヲ開催觀衆約二百五十  
 名出席(本部)本部役員及會長鈴木文治ノ講演ナリテ午後十時散會セリ  
 廿三日(八月)本部評議員評士添田勇(外一)名ノ講演ナリテ閉會午後六時  
 閉會後四時散會日也  
 一、大正六年三月出張部室ヲ開改修所ニ於テ拜物工二部ヲ賃金任上ノ要求ナリシ  
 上カレシテ會費低減費ナリテ其年收會ニ場ニ遊遊又シテ罷業人與四千名ノ多ク  
 達シ形勢ニ暗ク評ナリシ狀態トナリ、其内々名、會員ナルヲ以テ罷業ニ依  
 リ會長鈴木文治ハ、捕縛、シテ會地ニ出張シ評士添田勇、結果僅カニ解決ヲ得  
 ルニ至リテ、給與費、半ニ減セズ而シテ年々會費之ニ消セラルル狀態ナリシヲ以  
 テ何時出資スルヤ、ラレハ、狀況ニナリ  
 此種ニ依リ一般社會ノ思想界ハ、政米民主主義ノ影響前カ、急激ナル變化  
 外置ルニ至リ、各階級階級別ニ於テ之ノ革命思想ノ包持若助カラズレ  
 テ、其時、家權主義ノ叫ビ、勤モスレハ使用主ニ対シテ反抗セントスルノ傾向ヲ示シ  
 レリ、中會員ニシテ、三田友永、永樂、華會、社、工、五、同、業、會、等、並、ニ、其、時、勤、者、ナ  
 ルヲナリシヲ以テ、會社例ニ於テ、多ク、罷業、工、罷、工、罷、工、等、並、ニ、其、時、勤、者、ナ  
 り、之ニ對シテ、勤、者、ノ、内、田、友、永、五、永、樂、華、會、社、工、五、同、業、會、等、並、ニ、其、時、勤、者、ナ  
 ナキヲ見ルニ、七、華、會、上、勤、滿、ナル、解決トシ、テ、得、ス、又、亦、下、至、子、所、製、紙、會